

最先端技術と思いやりの 生きるばね屋

車やオートバイ、楽器などの大手メーカーが名を連ねる静岡県浜松市。その郊外に、ひときわ目を引く鮮やかな黄色の看板を掲げる工場がある。下請け企業としては斬新なビジネスモデルである、ばねの通信販売を定着させたことで注目される沢根スプリング株式会社は、試作から量産までを行うばね屋である。

製造小売業化と量産市場で 新時代を支える

沢根スプリング株式会社

同社のカタログ「ストックスプリング」はウェブでの閲覧・注文も可能で、その情報量の多さ、対応力は群を抜いている。

独自の経営理念を掲げて

現在は会長として同社を見守る沢根好孝氏が創業したのは1966年。ヤスリ工場から一転、あえて選んだ業種がばねであった。

設備や顧客も含めゼロからスタートし、今日がある背景には、

「やらまいか精神」で乗り越えた悪戦苦闘の歴史があった。「やらまいか」とは、「一緒にやろう」の意味を持つ遠州地方の方言だという。この理念は現代表取締役の沢根孝佳氏にもしっかりと継承されている。

先を見据える視線が とらえたもの

孝佳氏が大手電機メーカーに入社し、コンピューターに携わったことが後に沢根スプリングをIT

化に導ききつかけとなった。また家業を継ぐことを意識し、ばね業界で高いシェアを誇る自動車の部品メーカーにも研修に行った。その後渡米し、ばね産業の視察に飛び回る。帰国後、沢根スプリングに入社。研鑽を積み、90年、父の後を継ぎ二代目社長に就任した。創業から赤字を一度も出さずにいられる秘訣を沢根社長に尋ねてみると、先代からの教えでもあるという前置きで、「大きな欲をかないで、当たり前のことを当た

りに前に着実にやること。常に工夫し努力を続ければ自然と儲かる。良い人良い会社と付き合い、正しい商売を続けることですね」という答えが返ってきた。ばね業界は中小企業が多く、合わせて2000〜3000社ほどは輸送機器関連業界、次いで電機業界である。ばねは幅広い業界を支える、重要な機械要素部品だ。だが、ピラミッド型ビジネス構造において、下請け企業が大きく依存しているのは、コストダウンを狙った海外展開に持ってゆかれる危機感がある。特にばね業界では内製化されることも稀、まして品質での納期遅延がないこと、世界調達価格も当然とされるなかでの競争ゆえ、差別化を図るのは困難である。事実、91年のピーク以降、ばねの市場は後退し、緩やかな流れのなかにある。

とはいえ、他社との競争も不可欠だと沢根社長は語る。「良い意味で協業、連携していくことは大切」なのだそう。同社では量産が7割、残る3割は通信販売（小口）という2つのマーケットを持つ。

「近年は通信販売のイメージで受け取られがちですが、実際こうして量産にも力を注いでいます」ただ一方で、小ロットを求める顧客のニーズにも迅速に対応したいという思いも強い。

新しいビジネスモデルの誕生

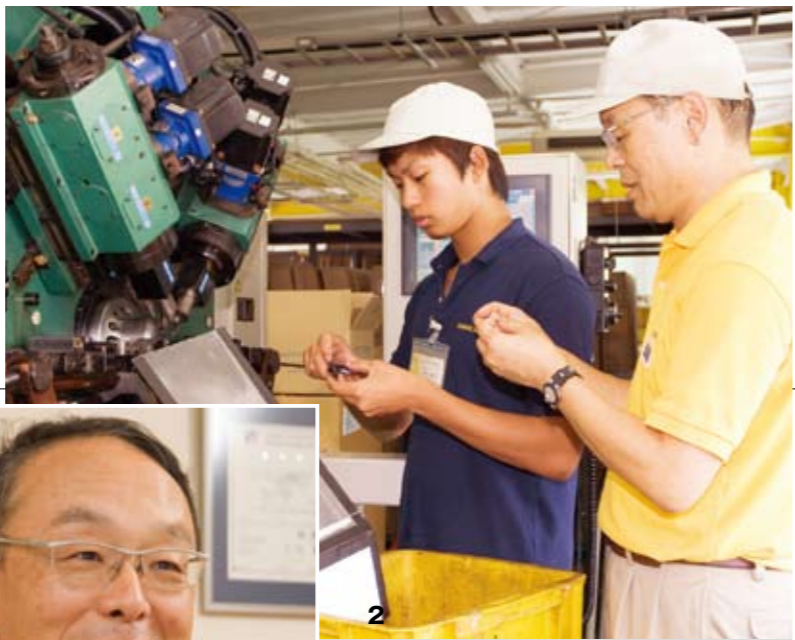
87年、同社はカタログ販売を本格的に開始。沢根社長は米国での経験を振り返り、下請け企業の間で常識を覆すべく、日本でも「ストックスプリング」がビジネスとして成立するのではないかと考えた。1500万円もの費用をかけ、570種類のばねを掲載して臨んだが、思うような結果に結びつかなかった。現場の反対や従来の量産をおろそかにできないというはざ間で苦しい時期が続いた。しかし、必ず成功するという信念のもと、試行錯誤しながら徐々に軌道に乗せることができた。沢根会長の理解と同社独特の「やらまいか精神」も背景にあった。

「うちは80%主義——潔ささえ感じられるその言葉には、適正な規模を守り、残業はせず自然に逆らわず生きることで会社を永続させたいという思いが託されている。」「創造力はガチガチやっつけているうちは出ないですよ」と、沢根社長はやわらかな口調で語る。定期的に従業員のなかでものごとを教え合う機会を設けるなどの社内文化も存在している。

製造小売業化、また技術プラスITを目指す一方、新製品の開発にも積極的で、2008年度版のカタログに掲載予定している新製



4



2



5



3

1. 熱処理による単面研削加工
2. ねじりばねを加工、若い力へと技術は継承されてゆく
3. 代表取締役 沢根孝佳氏
4. 新製品の「弾まないばね」
5. ばねの力を調べる測定作業

品も何点かある。詳細は現段階で公表できないが、用途は限りなくあり、今後の日本製造業を飛躍させるであろう秘めた可能性に期待が高まる。

一度きりの人生を大切に

気さくな人柄が印象的な沢根社長は、漠然とした未来ではなく綿

密なライフサイクルを描く。同社食堂内には、21世紀全体を記す100年カレンダーが掲げられている。自分に残された時間を想定し、どう生きるか人生設計をするためのものだという。また必須課題として、全従業員に作文を書かせるという。それを文集としてまとめるというから驚きである。文集は現在まで22冊にも及ぶ。そこには各々が第二の人生をも想定し、限られた人生をいかに大切に生きるかが綴られている。

沢根社長のまなざしは、つねに風を読み、先へと挑戦し続ける自信と情熱に満ち溢れていた。

編集部／太田祐子

Company Profile

沢根スプリング株式会社
所在地：静岡県浜松市南区小沢渡町 1356
TEL：053-447-3451 FAX：053-448-8298
担当者：代表取締役 沢根孝佳
事業内容：各種バネ製造、標準ばね「ストックスプリング」、線加工品
エミダス会社・工場詳細情報：
<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?3012>
※「エミダス工場検索」のキーワード検索「沢根スプリング」で検索できます。



会社情報